

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

# KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. 112

2024.December

完成現場報告 島田市 / 『ベリーの家』


開放的な空間で伸び伸びと暮らす  
健やかな木の家

# 開放的な空間で伸び伸びと暮らす 健やかな木の家

完成現場報告

島田市／『ベリーの家』

文・写真／ココラボ 山崎健治



キッチンから広間を見る。家族の集まる広間は解放的なダイニングと天井高さを抑えた畳コーナーで構成している。ダイナミックな木組みと漆喰の優しい表情が、心地よい木の空間をつくっている。

今年の春に完成した『ベリーの家』は、開放的で日当たりの良い恵まれた敷地を活かし、ゆったりとした平屋での計画となりました。タイトルにつけた『ベリーの家』とは、いつも打ち合わせに来てくれた二人のお嬢さんにちなんでネーミングさせていただきました。明るく元気で、可愛らしい赤い実の様な笑顔で話しかけてくれ、とても元気をもらっていました。施主のMさんとの家づくりは、『こころぼの家@島田』を見学いただいたことからスタートしました。まだ土地探しをはじめたばかりで、自分たちにはどんな住まいが良いか模索している時期だったと思います。木の家のイメージを膨らませるために、すでに暮らしている木の家を見てみたいとご要望をいただき、私の自宅をご案内したり、少し前に完成した『彩光の家』のKさんのお宅を見学させていただきました。同じ木の家でも年月の経過やその家族の趣味などで雰囲気が変わります

が、木の優しさや心地よさは共通で、ココラボのつくる木の家の雰囲気伝わったと思います。その後本格的に土地探しが始まり、Mさんから幾つかの候補地の連絡がありました。いろいろな土地がありましたが、最終的にはとても開放的で広く、日当たりの良い土地を選ぶ事が出来ました。土地が決まればよいよプランを検討していく段階です。土地をじっくりと見て感じ、隣家の窓配置や建物の高さ、その場所から見える景色などを計画に反映してプランを提案させていただきました。プラン要望のヒアリングの中で印象的だったのは、完成見学会で見たお宅の中で、特に参考になった間取りなどを伝えてくれた事でした。どんな間取りが良いですか？と聞かれても、自分たちだけの知識や経験では具体的にイメージする事が難しいと思いますが、実際にいくつもの住まいを見学する事でイメージが湧き、それらの間取りを参考にしながら自分たちの暮らしに置き換えていく作業が出来た事はとても有意義だったと思います。まだ土地が決まっていなからとか、まだ先の計画だからと足踏みしている方も多いと思いますが、実際に見たり体験する事で自分の中に要望が生まれ、いざ計画となった時にとても参考になると思います。ココラボでは完成したお宅の見学会を始め、毎月常設展示場の見学会を行っていますので、是非気軽に足を運んでください。



玄関の正面には中庭の見える大きなガラス窓を設けた。ガラス窓近くにはジュンペリーの木を植え、訪れた来客の目を楽しませてくれる。落葉樹は季節の変化も感じられ、写真撮影に訪れた時は、秋の色に変化した姿を見せていた。



杉板の勾配天井と漆喰壁、玄関の脇にはベンチと手摺を設けた。ベンチには広葉樹のキハダを使用し、手摺は大工の手加工で八角形に仕上げている。玄関は家族動線としてシューズクロークにもつながっている。



ダイニングテーブルと椅子は、通常よりやや低めの家具を選択した。座面の低い椅子はゆったりと座れ、子供との視線も近くなる。家族で囲む食事のひと時はとても大切な時間。料理と共に会話を楽しむ空間を大切にしたい。

## ライフスタイルに合った床板選び

コの字の中心に中庭を設けたプランは、大きな窓から差し込む日差しが室内を明るく、暖かくしてくれます。冬の日差しは低く室内に差し込み、床板を直接暖めてくれます。Mさんのお宅の床板は杉板を選択しました。栗や桜など、それぞれの特徴があり選択は難しいですが、優しい肌ざわりでサラツとしていく杉板は心地よく、直接座ったりゴロツとしたりと、自分たちの暮らしにはあっていいると思われ選択されました。コロラボで採用している床板は無垢板を基本とし、少し硬めの山桜と栗、つるつとした肌ざわりの松、香りの良い青森ヒバ、そして優しい感触の杉板が定番です。どの床板が良いかはそれぞれの家族のライフスタイルや好みで変わってきますが、どの床板も個性があり、感触だけでなく、出来上がった空間の大きなポイントになります。Mさんの選択した杉板は他の床板に比べて幅が広く、また4mまで一枚で貼ることができ、天井や壁の仕上がりにも杉板を使っているため、木に包まれた一体感のある雰囲気になります。杉板は柔らかく傷がつきやすいことから、ダイニングなどの椅子選びは少し注意が必要です。なるべく接地面の広い足のタイプを選んでいただき、床への負担が少ないのが良いと思います。

## 明るさや暖かさと共に景色を取り込む窓

Mさんのお宅は中庭を囲んだコの字型で出来ているため、家のいろいろな窓から庭の緑や空がよく見えます。広間の吹き抜けの窓からは月や星が見えて、子供たちも喜んでいると話してくれました。今回のプランでは、中庭を囲んでいる広間と玄関に大きなガラス窓をつくりました。広間の窓は開放出来てウッドデッキとのつながりをつくっています。玄関の大きなガラス窓はFIX窓とし、主に景色を楽しむ窓としました。窓から見える位置にはジュンペリーを植え、シンボルツリーとしています。撮影に行った時は葉が紅葉して黄色に変化していました。春には白い花が満開となり、初夏には赤い実をたわわにつけ、季節の移ろいを感じられる落葉樹です。ジュンペリーの足元は富貴草やヤブラン、タマリユウなどの地被植物を植え、Mさんが支給してくれた大井川の玉石を敷きました。ちょっとした植栽コーナーですが、訪れる方の目を楽しませてくれる窓になったと思います。窓の向かい側にはベンチも設置しました。材料には広葉樹のキハダを使用し、手摺は大工の手仕事で八角に仕上げました。靴を履いたり荷物を置いたり、時にはベンチに腰かけて窓を眺めるのも楽しい時間になりそうです。



コの字型に開かれた中庭は、冬の風を遮り暖かな陽だまりスペースをつくってくれる。近年は高断熱高气密の住宅が主流となり窓の小さな家も多いが、大きな窓から差し込む太陽の日差しは、暖かさと共に幸福感を感じさせてくれる。



玄関ポーチの屋根を大きく伸ばし、車寄せを兼ねたスペースとした。屋根続きで玄関まで移動出来る駐車場はとても便利で、特に雨の日はとても助かる。大きな屋根は建物を守り、耐久性の面からも重要な要素になっている。



大きな窓と大きなデッキが特徴の中庭空間。子供たちは部屋の中外を自由に行き来し、元気よく駆け回っている。Mさんのお宅は平家だが、屋根形状を工夫してボリュームのある外観となっている。

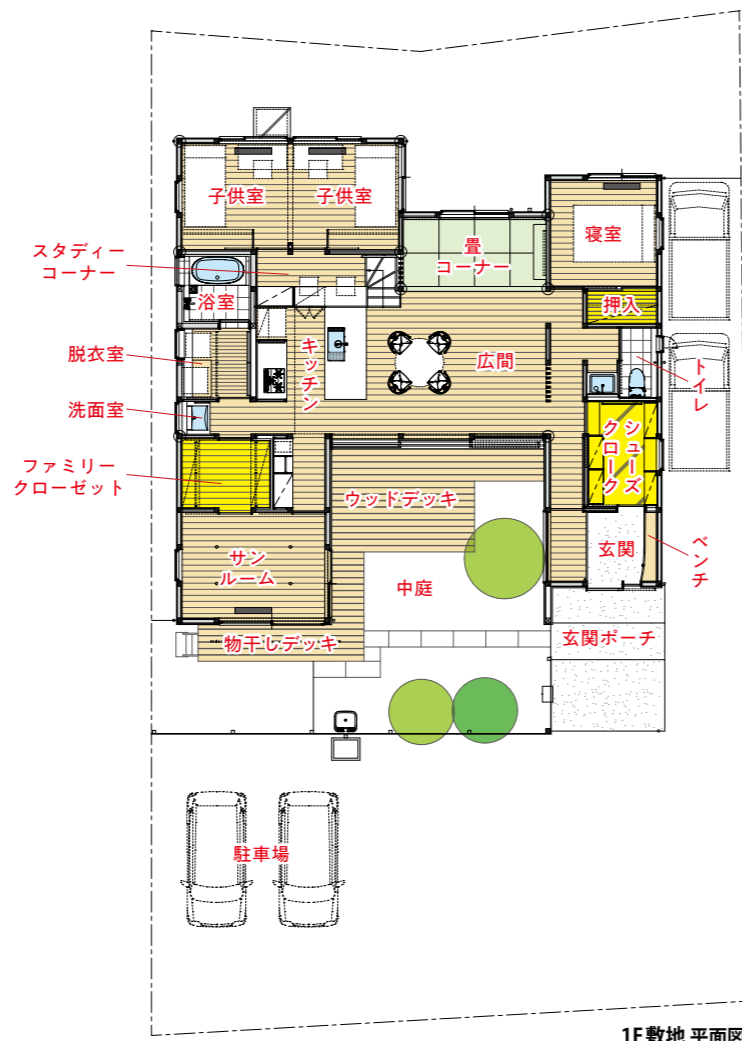
## スキップフロアで 変化のあるプラン

Mさんのお宅は、ゆったりとした広い敷地に平屋のプランを計画しました。平屋のお宅と聞くとバリアフリーで段差がなく、当然階段の無い家をイメージすると思いますが、今回のプランは、スタディーコーナーと子供室を1m程高くしたスキップフロアを採用しました。わざわざ1m程床を高くした理由は二つあり、一つは敷地を訪れた時、北側に見える遠くの山の景色が綺麗だと感じた事でした。平屋の窓からでも見える景色だと思いましたが、もう少し床を高くしたらもっと綺麗に見えるのでは？と思いました。家のどこかの部屋にこの遠くを見渡せる景色を取り入れたいと思い、プランを考える中で色々検討しました。敷地の北側という事もあり広間や玄関は難しく、寝室か子供室にしたいと思いました。寝室は将来段差が問題となるので、最終的には二つの子供室を北側に配置してどちらの部屋からも見える窓を設けました。窓も通常の引き違い窓ではなく、景色が良く見える片引き窓を採用しました。窓からは思っていた通りの見晴らしの良い景色が見え、満足のいく窓となりました。もう一つの理由は、住まいにおける親と子供との関係と、間取りや空間の変化について考えました。平屋の平面的なプランもフラットで

暮らしやすく、親子の交流もしやすいプランになると思いますが、少し立体的な変化のある空間は、子供の成長過程の中で、親との程よい関係が生まれやすいと感じたからでした。この意見に関しては家族それぞれで意見が分かれると思いますが、子供が小さいうちは寝室も同じで変化は必要ないと思います。だんだんと成長し子供が部屋を持つようになると、親と子は程よい距離感も大切になると思います。家族であっても少し距離を持ち、自分の時間を過ごす場所がある事も大切だと思います。通常の2階建の家では必然的に上下で別れてしまうのですが、今回は平屋での計画という事で、中間的な程よい高さをつくり出してみました。子供室と広間の間には中間領域のスタディーコーナーを挟み、その時の気分で居場所を選べるのも良いと思います。現在はまだまだ小さな2人の子供たち、大きくなってこのスキップフロアを喜んでもらえるかな？ 気に入ってもらえると嬉しいです。



南側の外観。大きな窓のある中庭は板塀で囲まれ、道路や隣地、駐車場からの視線を遮っている。開放的な暮らしを楽しむためにはプライバシーを守る工夫も重要。板塀は高さ1.8m~2m程度とし、3cm程の隙間を空けている。



1F敷地平面図

仕様内容

家族構成	家族4人
敷地面積	355.30㎡
建築面積	115.58㎡
延べ床面積	103.51㎡
構法	木造軸組在来構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼・マサ土掻き落し仕上げ
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm PB下地クロス貼
壁	杉落とし込み板現し・漆喰塗り・青森ヒバFJ本実板張り、PB下地クロス貼
床	杉本実板 厚12mm 青森ヒバ本実板 厚15mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和6年3月

木の優しさを引出した提案

コロボの住まいは、広間や各個室はもちろん、収納や水廻りにも木をふんだんに使って提案しています。木は人に寄り添い、優しい風合いで家族を包んでくれます。



畳コーナー 広間の一角に設けた4畳小上がりの畳スペース。テレビを見たりお昼寝したり、小さな子供のいるお宅ではとても便利な空間だと感じる。



子供室 今は子供の遊び場となっているスペースで中二階に設けた2つの子供室。1FLから1mほど床の高さを上げ、窓から遠くの山が見える位置とした。



キッチン 二の字型配置の対面型キッチン。シンク側の作業スペースが広く確保出来、シンクとコンロが分かれているので2人でキッチンに立つ時も作業しやすいキッチン。対面型なのでダイニングともやりとりしやすく、盛り付けや配膳など、家族みんなで行うことができる。



浴室 もはや説明いらずのコロボ定番の木の浴室。黒のタイルと青森ヒバの壁で、落ち着いた雰囲気となった。1日の終わりにとても癒されると人気。



脱衣室 脱衣室には洗濯機と並んでガス乾燥機を設置した。ガス乾燥機はパワフルで乾きも早く、何よりふんわりとした仕上がりが人気となっている。



手洗い トイレ横の手洗いスペース。カウンターに洗面ボウルをはめ込んだシンプルなデザイン。帰宅後の手洗いが、スムーズな動線計画がポイント。



トイレ 収納カウンターと手摺を一体化したオリジナル家具を製作。省スペースながら機能面を重視し、ストレス無く使いやすいデザインとしている。

家族と共に  
健やかに暮らす家

今回Mさんの家づくりの中で特に大切にした事は、家族みんなが健やかに暮らせる住まいをつくる事だったと思います。スムーズな家事動線や十分な収納、開放的で明るい空間や、景色の楽しめる窓など、いろいろの要素を盛り込んでひとつの住まいをつくりあげていきました。これらの要素は当たり前なのかもしれないですが、性能や全体のコストを考えていくと、現実的にはなかなか難しい問題も出てきます。Mさんの家づくりも全てが希望が叶ったわけではなく、コストによって諦めた事や、最後まで悩んだ事もたくさんありました。でもその中で一番大切にしたのは、やはり2人の子供たちが健やかに育ち、楽しく笑って暮らせる住まいをつくる事だったと思います。無垢の床や自然素材の壁と天井、駆け回れるデッキや遊べるお庭。Mさんご夫婦はいつも子供たちの事を考えて選択していたように思います。家が完成して私も何度かお伺いしましたが、家の中を楽しそうに走り回る2人の姿を見ていると、とても暖かな気持ちになります。まだまだ出来立ての木の家、子供たちの成長を見守りながら、共に歩んでいって欲しいと思います。

# HAIR の mur! mur!

そねりさの髪と暮らしとおしゃれの塩梅 vol.02



## 私(自分)の髪を染める 一植物編一

髪の手引きの始まりは、美容室のメニューの中でも半数近くの方が求められるヘアカラーについて、知識を深めていきたいと思えます。まず髪を染める方法は、ファッシュョンカラー、グレイカラー、マニキュア、ボタニカルカラーの4つです。その4つの選択から何を選ぶかは、黒髪(地毛)を明るくしたい、暗くしたい。という事と、白髪を染めたい(根本から毛先まで綺麗に同色で仕上げる)、白髪を生かしたい(そのままの白髪をデザインとして染めむらで仕上げる)という事を髪質や好む髪型に照らし合わせて、選ぶことが大切だと思います。

今回はその中の「ボタニカルカラー」植物のみで髪を染める、ことをお伝えします。まず、髪を染められる植物はヘナ(オレンジ)、インディゴ(ブルー)、ターメリック(補色)、ハイビスカス(補色)。その4色を単色で使用したり、ブレンドしたりして、さまざまな色を作ります。その最大限の魅力は、色を染めながらにして、植物の恵みが頭皮から全身を巡り、デトックスを促し、心も体もリラックスさせてくれることです。温かいペーストを髪と頭皮に纏い、ゆっくりと浸透させていくので、ヘナは体を冷やす植物なので、髪を染めている時間に一緒に足湯をする事で温まり、頭寒足熱まで叶います。他のカラー方法に比べ時間はかかりますが、好きな本を持込んだり、何もせず窓から見える景色をボーッとながめたりする余白時間をお楽しみいただけます。ボタニカルカラーは化学的な力がゆるやかなため、髪を明るくする力は持ち合わせていません。ゆっくりと発色し、白髪を消してしまうような濃い染色は1度では難しいことが特徴です。しかし2度3度と繰り返し重ねること、色が深まり、強くしつかりとした髪と頭皮を育ててくれます。黒髪も白髪も変化してゆく染め髪も年齢と共に楽しんでいきたい方へおすすめのカラーになります。

### 髪のすゝめ — ISLAND HENNA —



ヘナの産地といえばインドですが、サロンで愛用しているのは鹿児島県の南にある与論島産。島の生態系を大切に、島の人々の手で育てている「アイランドヘナ」。使うほどに島の豊かな循環を生み、月桃やレモングラスなどの相性の良いハーブ(コンパニオンハーブ)と共に育ったヘナは、優しい香りでトリートメント効果も高く、心まで整えてくれます。ご自宅でホームカラーもできますので、ぜひお試しください。

### ハーブのすゝめ —ヘナ—



和名：指甲花(シコウカ)。紀元前5000年から、人々の暮らしと共に伝えられてきた、今もアップデートしながらいにしえの時を刻み続けているハーブです。旧約聖書では美しい小花や香を愛でていたと記され、インドのアユルヴェーダ(伝承医学)では万能薬として使用されています。髪には、染色、美髪目的ですが、肌に模様を描く=メヘンディ(ヘナアート)として、お守りや幸運を招く伝統文化があります。

## 髪と暮らしのいい塩梅を見つける美容室 mur mur design

[OPEN] 9:00~18:00(ご予約優先)  
日曜日定休

[SNS] Instagram : @murmurdesign\_risasono



LINE ID : https://lin.ee/cGF3eqj

★ご予約・お問い合わせはLINEにて



## もくペれ × GALLERYkino



静岡市清水区にお店を構え、今年で10周年を迎えたペレットストーブと器を中心に作り手の作品を扱うお店です。どちらも心地良い暮らしに寄り添い、生活を彩るアイテムとしてお客さまにご提案させていただいております。

ペレットストーブの説明会や年8回ほど行っている作り手の企画展を通して、お客さまに楽しんでいただけるお店の運営を心掛けています。日々のようすはInstagramをご覧ください。

[住 所] 静岡市清水区有度本町5-18  
[TEL] 054-368-7023  
[OPEN] 10:00~17:00  
[定休日] 水曜・木曜(企画展期間は無休)

[SNS] Instagram: @mokupere(ギャラリー)  
@mokupere\_(ストーブ)



[URL] https://www.mokupere.com/

## レッカーランド



本場ドイツ・オランダで金賞受賞した本場の味。店長が丹精込めて創り出すヨーロッパ最高スパイスの味と香り豊かな60種類以上のハム・ソーセージ・ベーコンがお店に並びます。ふじのくに新商品セレクション金賞を受賞した自家製三ヶ日牛コンビーフは、表面のラードとコンビーフを混ぜると霜降りのコンビーフとなります。三ヶ日牛を使用し、ゼラチンで固めたヘルシーなコンビーフです。お好みの一品をお探しくください。

[住 所] 浜松市中区西伊場53-5  
[TEL] 053-451-3820  
[OPEN] 10:30~18:30  
[定休日] 火曜日・第3日曜日

[URL] http://www.leckertland.com/



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」Facebookページ



Instagram @kokolab.ie



発行人 有限会社こころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

#### 担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

#### 会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

#### 編集後記

今年も残すところ1ヶ月となりました。1月に事務所を工場の2階から『ココラボの家@島田』に移し、四季を通して私たちのつくる木の家の中で過ごしました。窓から差し込む光や木の風合い、雨の日の様子や暑い日の過ごし方など、実際に体験できました。今年は猛暑の期間が長く、屋根の断熱や窓の遮熱などが効き、快適に過ごす事が出来たなど、夏場の建物の性能を肌で感じ取る事が出来ました。また、窓から見える庭の木々や草花のありがたさや、ふとした時に見る景色に癒されました。住まいと事務所ではまた違った感じ方があるのだと思いますが、この空間の中で感じる様々な事を活かし、今後も質の高い木の家づくりを目指していきたいと思っております。本年も様々な方にご協力いただきありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いたします。(山崎健治)

#### 『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29

電話 : 054-270-7658

こころばの家  
@静岡(地図)



#### 『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

電話 : 0547-54-4556

こころばの家  
@島田(地図)



### 🏠 島田市『しろの家』構造現場見学会を行います。

長年考えた家づくり。構法や性能、素材や間取り、考えれば考えるほど悩み、様々な住宅会社や設計事務所を見てきたTさん。でもやっぱり建てたい家は木の家で、木の香りや優しい肌ざわりが忘れられないと話してくれました。そんなTさんが選んでくれた板倉の家。敷地やコストなどの制約に立ち向かいながら、家族みんなが楽しく感じられる住まいをつくっています。

◆ 日時：2025年1月上旬(日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はSNSでご確認ください

◆ 場所：島田市

### 🏠 掛川市『一の家』完成現場見学会を行います。

少し小高い敷地に建築しているSさんのお宅、大きな窓からは一面に広がる田んぼや畑が見渡せます。この景色を最大限住まいの中に取り入れたいと考え、平屋の一文字型のプランを提案しました。和室や広間、浴室や子供室、家のほとんどの部屋から景色が見え、光や風もふんだんに取り入れた住まいになりました。今回はココラボでは珍しい瓦屋根のお宅です。是非ご見学ください。

◆ 日時：2025年3月上旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はSNSでご確認ください

◆ 場所：掛川市

※見学会の詳細情報はSNS・LINEでお知らせします。

### 🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、何でもご相談ください。

◆ 日時：1月11・12日(土・日)

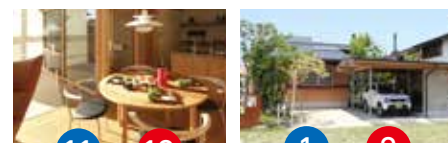
2月1・2日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』  
『こころばの家@島田』

### 🏠 こころばの家オープン日

予約制で行います。ご希望の日時をご連絡ください。



1月 11(土) 12(日)  
10:00~16:00

2月 1(土) 2(日)  
10:00~16:00

## 2025 ココラボOBから学ぶ薪ストーブ講座



家づくりの際、憧れていた薪ストーブを取り入れたいと考えている方も多いと思いますが、わからない事や不安な事ばかりで決断出来ない方もいると思います。ココラボでは、家づくりを行う約半数の方が薪ストーブやパレットストーブを取り入れた家づくりを行い、毎シーズンの楽しみになったと喜んでいただいています。そこで、実際に薪ストーブを利用しているココラボOBを招いて、薪ストーブについて語っていただこうと思います。メンテナンスは？薪の調達は？子供は危なくない？暖かさは？などなど。薪ストーブ屋の伝兵衛堂も交えて、様々な不安に答えていただく講座を行いたいと思います。薪ストーブに興味のある方は是非この機会にご参加ください。

◆ 日時：2025年2月15日(土) 13:00~16:00

◆ 場所：『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 0547-54-4556

上)『彩光の家』Kさんのお宅の薪ストーブ

暖房だけでなく薪ストーブを使って料理も行っているKさん。薪ストーブライフの醍醐味を語ってもらいます。

下)『若葉の家』Iさんのお宅の薪ストーブ

薪ストーブは準備やメンテナンスが大切。薪ストーブの良さと合わせて苦労話も聞かせてもらいましょう。